

都市・交通・まちづくりに取り組んで

【秋口 守國（専門分野：都市・交通・まちづくり）】

FellowLink 倶楽部 2015/04/01 #21 に寄稿

私は、大学で地域開発と交通を学んだ後、旧建設省に入り、海外を含め国、自治体勤務をし、まちづくりの財団、建設コンサルタンツ、三菱地所を経て、今は年金生活です。間もなく古希に達しますが、これまで東京や大阪などの大都市や熊本などの地方都市の都市・交通の計画・整備や、中小都市の町おこしなどのつきあいを持ち、この縁で引き続き各地でのまちおこし・まちづくり・交通などにかかわらせていただいています。

地方での悩みや課題は時とともにどんどん変化していき、その解決に向けて地域の特色を抽出し、具体の形で生かしていかなければなりません。このため仲間と一緒に、かつての計画などを尊重しつつも拘泥せず、新たな気持ちで次世代に残るものは何か語り合い、取り組んでいます。

東日本大震災の復興や大阪の梅北地区の開発などのおつきあいを続けていますが、特に、ここ2年間は、（一社）沖縄しまたて協会が実施する地域振興支援事業でアドバイザー役として沖縄を訪問し、自治体の方々と(1)米軍基地の跡地利用やその周辺整備方策、(2)沖縄の発展、那覇の第2滑走路の開設などを念頭に置いた、MICE誘致や物流施設の導入に伴う土地利用転換の可能性やインフラ整備方針などを語りあいながら簡易なレポートを作成してきました。

沖縄のつながりとして勤務経験はありませんが、10数年前から普天間空港を除く中小の米軍基地の返還を念頭に置き、自治体としてどのような取り組みをすべきか、国や県はどのような支援をすべきか、できるかなどを議論して来ています。そのような延長線上で、必ずしも基地に限らず、まちの抱える話題についても共に考えることにしています。

ここではその事例として、北中城村アワセゴルフ場跡地とその周辺整備についてふれます。北中城村は県庁所在都市那覇市の広域都市計画の北端にあり、中部の沖縄市に接した人口1.5万人の小さな自治体です。旧米軍のアワセゴルフ場があり返還になりましたが、40ha余との広大な土地で、現在、今春開設の大規模商業施設と来春目途に病院の建設工事が進んでいます。

地元では行政経験豊かで、卓越した計画・調整・事業能力を持つ那覇市OBの方が中心になって進み、さらに、この開発がきっかけで周辺も含め大きな展開が期待されます。私はこのベテランの方に就任を要請し、そして折々に沖縄を訪問、泡盛などを酌み交わしながら計画・事業をめぐる課題・対応について相談し、これをもとに国・県・隣接市などとのつなぎ役の一部をしている程度です。

私たちの意識には、沖縄での大規模基地跡地利用は、これまで小録・金城、北谷、天久の事業が成功裏に終わっていますが、経済・社会状況が激変しつつある中、これに続くアワセゴルフ場跡地を成功させ、さらに次なる西普天間基地の跡地利用などにバトンタッチさせること、さらには普天間基地跡地を成功裏に導けたらとの願いがあります。

アドバイザーは単に自らの有する知識のみならず、国内外を含めた参考事例や人脈紹介など幅広い範囲に及ぶ役割を持ちます。都市・交通・まちづくりの計画や整備にかかわる方々、特に現役に、自信と勇気を持ってもらうことができるように、今後も沖縄に限らず各地で、可能な限り尽力するつもりです。

【参考】 一般社団法人沖縄しまたて協会 <http://www.shimatate.or.jp/>
アワセゴルフ場地区跡地利用計画 <http://goo.gl/j1kMfz>